

< あなたの治療について >

血内 - A+AVD 療法

今回の治療は、A+AVD 療法という治療法で、とドキシソルピシン（DXR）とエクザール（VLB）とダカルバジン（DTIC）とアドセトリス（ADC）という4種類の注射薬を併用して行います。ドキシソルピシン、エクザール、ダカルバジン、アドセトリスは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目と15日目に点滴を行います。この治療を4週間（28日間）ごとに6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~14日目	15日目	16~28日目
①	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み		お休み
②	アドセトリス (抗がん剤)	点滴 約1時間				
③	ドキシソルピシン (抗がん剤)	点滴 約30分				
④	エクザール (抗がん剤)	点滴 約30分				
⑤	ダカルバジン (抗がん剤)	点滴 約1時間				

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

アドセトリスとドキシソルピシンとエクザールとダカルバジンについて

- 白血球減少・好中球減少・リンパ球減少・貧血 ●LDH 増加 ●ALT 増加・AST 増加
- 嘔気、悪心・嘔吐、食欲不振・食欲減退 ●口内炎 ●脱毛 ●発疹 ●下痢 ●疲労
- 鼻咽頭炎 ●上気道感染 ●末梢性感覚ニューロパチー ●疲労

◎特徴的な副作用について

アドセトリスにおける

●Infusion reaction

「呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動悸」などの症状

ドキシルピシンにおける

●心筋障害

「息切れがする、咳き込む、急に胸が痛む、脈が乱れる、めまいがする」などの症状

エクザールにおける

●末梢神経障害

「手足のしびれ感、灼熱感、痛み、物がつかみづらい、歩行時につまづくことが多い」などの症状

***しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

ダカルバジンにおける

●肝・腎機能障害

「発熱（38～39℃）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい」などの症状

「顔や手足がむくむ、からだがだるい、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る」などの症状

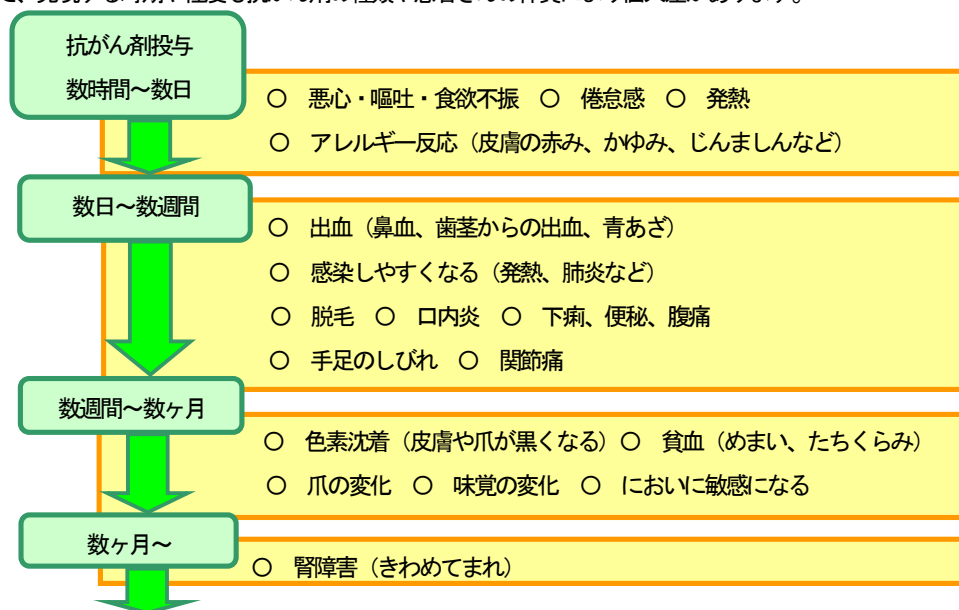
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【アドセトリス】

- 〈末梢神経障害〉手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく
- 〈感染症〉体がだるい、発熱、寒気、咳、痰、息切れ、息苦しい、脈が速くなる
- 〈進行性多巣性白質脳症(PML)〉けいれん、意識の低下、意識の消失、しゃべりにくい、物忘れをする、手足のまひ
- 〈骨髄抑制〉発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、息切れ、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、息切れ
- 〈インフュージョンリアクション〉呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動悸
- 〈腫瘍崩壊症候群〉意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ
- 〈皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)〉発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
- 〈急性肺炎〉吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中への痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
- 〈劇症型肝炎、肝機能障害〉急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
- 〈肺障害〉発熱、咳、痰、息苦しい、息切れ、呼吸がよくなる、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる

【ドキシルピシン】

- 〈心筋障害、心不全〉手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み
- 〈白血球減少〉発熱、寒く感じる・ふるえ、喉の痛み
- 〈貧血〉疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い
- 〈血小板減少〉原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血が止まりにくい
- 〈ショック〉発疹、蕁麻疹、頻脈、せいぜいする

【エクザール】

- 〈骨髄抑制〉貧血症状、発熱、出血傾向。
- 〈知覚異常、末梢神経炎、けいれん、錯乱、昏睡、昏蒙〉知覚の異常、四肢のしびれ、感覚鈍麻、四肢の脱力や筋萎縮、筋肉が発作的に収縮する状態、考えがまとまらない、意識が完全に消失した状態
- 〈イレウス、消化管出血〉排便の停止、腹痛、腹部膨満感、吐き気、吐血、下血、黒色便。
- 〈アナフィラキシー様症状〉呼吸をしにくい、じんましん、ふらふら感、冷汗、動悸、息切れ。
- 〈心筋虚血〉胸の痛み、圧迫感、狭窄感、冷汗。
- 〈脳梗塞〉突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、頭痛、言語障害、視力障害、意識障害。
- 〈難聴〉声や音がきこえない。
- 〈呼吸困難及び気管支けいれん〉呼吸をしにくい。発作的な息切れ、喘鳴(ヒューヒュー音)。
- 〈間質性肺炎〉発熱、から咳、呼吸をしにくい、頭痛、全身倦怠感。
- 〈SIADH〉全身倦怠感、頻尿、のどの渇き。

【ダカルバジン】

- 〈アナフィラキシーショック〉発疹、蕁麻疹、頻脈、せいぜいする
- 〈白血球減少〉発熱、寒く感じる・ふるえ、喉の痛み
- 〈貧血〉疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い
- 〈血小板減少〉原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血が止まりにくい
- 〈肝静脈血栓症、肝細胞壊死を伴う重篤な肝障害〉体重増加、右側上腹部の腫れ、皮膚が黄色くなる、白目が黄色味を帯びる

- ◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。